

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏 名			*生年月日	(西暦) 年 月 日生
*住 所	〒 -			
*連 絡 先	電話(自宅または携帯)：			
	E-mail：			
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号	
*医籍番号	第 号	*専門診療科		
資 格	専門医資格	その他の資格		
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：			
現在の勤務先				
希望 条件	就 業 形 態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：		
	希望診療科			
	施 設 種 別	①病院 ②診療所 ③その他：		
	希 望 地 域	第1希望： ☐ 那覇 ☐ 南部 ☐ 中部 ☐ 北部 ☐ 離島 第2希望： ☐ 那覇 ☐ 南部 ☐ 中部 ☐ 北部 ☐ 離島		
	勤務希望時期	①今すぐ ②平成 年 月頃から ③未定		
	勤 務 時 間	勤務可能な曜日： 月・火・水・木・金・土・日 勤務可能な時間帯： 時 分 ~ 時 分		
	当 直 勤 務	①できる ②できない		
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医		
	給 与	常勤務の場合： 月給： 以上		
		非常勤の場合： 日給： 以上 月給： 以上		
		臨時の場合： 時給： 以上		
	保 育 所	①必要 ②必要なし		
	再就業のための再研修	①必要 ②必要なし		
	その他希望			

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089



続星見行

南西耳鼻咽喉科医院
仲程 一博

10 年程前に「星見行」という題で拙文を載せていただきました。今回はその続編と言う訳ですが、小生の星見のスタイルに大きな変化があるはずも無く、今だに細々と続けています。だいぶ以前は暗い星空を求めて車で移動するジプシー星見もしていましたが、もう年をとり体力気力共にダウン。自然と自宅のベランダからの観望のみとなりました。でもこれがさすが石垣島。我が家のベランダからでも肉眼で天の川がきれいに見えます。

ところで小生は星見の最初期から双眼鏡を使用してきました。双眼鏡を使うと本当に星が良く、しかもきれいに見えます。以来 40 年以上にわたりずっと双眼鏡がそばにあります。途中望遠鏡を手に入れたこともあります。双眼鏡を手放した事はありません。ど近眼で乱視と老眼が加わり、更に 10 年程前に飛蚊症になってしまい両眼共に視野の中でイカスミが泳いでいる状態の自分にとって双眼鏡は無くしてはならない存在です。ここで次いでながら今少し星見の道具としての双眼鏡について触れてみたいと思います。

まずはごく基本的な事柄からです。双眼鏡には 7×50 とか 8×40 とかの表示があります。この意味は 7×50 だと倍率が 7 倍で対物レンズの直径が 50mm、 8×40 は倍率が 8 倍で対物レンズの直径が 40mm という事です。40mm、50mm というと、図体はそのサイズという事では無く、4cm や 5cm の対物レンズが 2 個あるという事です。全体としてはかなりのボリュームとなり決して小さくはありません。光学製品はどれもそうかも知れませんがメーカーにより見え味に大きな差があるようでその選択に迷います。

小生も双眼鏡選びには人知れず悩んできました。雑誌の記事を参考に予算と相談しながらあれこれ右往左往しながら、いつの間にか 40 年が経ってしまいました。気がつくと現在手元に何と 10 台もの双眼鏡があるではありませんか！ Zeiss が 4 台、Nikon 1 台、タカハシ 1 台、メインのフジノン 15cm と最近手に入れた賞月観星が 3 台です。一番古いのはタカハシの 7×40 で、40 年は経っていますが今だに健在です。メインのフジノンも 25 年、ほとんどが 10 年以上のツワモノぞろいです。でも最近価格破壊と言われる程評判の良い賞月観星の存在を知り、立て続けに 3 台購入しました。安い割に大変見え味が良く、特に $16 \times 70ED$ はお気に入りです。

さて手に入れた好みの双眼鏡で何を見ようか？ 小生の場合、まず星見。次いでバードウォッチングと我が家の裏山の山並み観望というところです。今回は星がテーマなので星見に絞ってみましょう。一番身近な星は太陽と月、そして惑星でしょうか。恥ずかしながら小生、月と惑星が苦手なんです。倍率が我がメインの双眼鏡でも 25 倍しかないの土星の輪や木星の大赤斑、火星の表面の模様などは楽しむことができないのです。かつて肉眼天文学の大家と自認されていた草下英明氏も土星の輪にはあっさり兜を脱ぐとおっしゃっていました。惑星観望には高い倍率が必要なのです。

太陽に関して言えば夕陽を見に時々出かけます。石垣島にはいくつも夕陽スポットがあり夕方になると何処からとも無く人々が集まってきます。小さい頃に見たあの大きな夕陽をここ石垣島ではまだ見ることができます。運が良ければ雲の切れ間の水平線に夕陽がゆっくりと沈んで行く様子を拝むことができます。さらにもっと運が良ければオレンジ色に染まり大きく膨らんだ球体の下面が海に接する瞬間ジュッと音がして右側にシューッと湯気が立ち昇るさまが確認できるはずだ。若人諸君！ 夢ゆめ疑うこと勿れ！

道草が過ぎました。本来小生の星見は星雲星



沖縄県医師会報
一紀行文

浦西医院
仲間 清太郎

5月の大型連休を利用して、我がふるさと宮古島市に行ってきました。まず、簡単に宮古島の紹介をしておきましょう。宮古島は沖縄本島から南西に約300Km、大小6つの島（宮古島、池間島、栗間島、伊良部島、下地島、大神島）で構成されています。池間島と栗間島と伊良部島の3つの島にはそれぞれ橋が架かっています。宮古島市の総面積は204平方Km、人口は約55,000人で人口の大部分は平良地区に集中しています。野原岳が海拔109mで島全体が平坦で、山岳部は少なく、大きな河川もなく、生活用水のほとんどを地下水に頼っています。地下水を守るーエコアイランド宮古島宣言、また全日本トライアスロン宮古島大会、各種スポーツ団体の合宿等が行われるースポーツアイランド宮古島を宣言しています。ご存知のように宮古島は昔から言われている台風銀座。過去を見ると、大きな台風が3つありました。①昭和34年9月15日のサラ台風：瞬間最大風速64.8m/秒。当時の通っていた北小学校の瓦葺の校舎が全壊してしばらく学校へ行けなかったことを覚えています。②昭和41年9月5日のコラ台風：瞬間最大風速85.3m/秒。3日3晩公民館の中で過ごした。測候所の計測器は故障。③昭和43年9月22日のデラ台風：瞬間最大風速79.8m/秒。最近では地球温暖化に伴ってか？台風の発生が赤道よりかなり上方で発生しているため大型台風は発生していません。さて、その他トライアスロン以外宮古島で有名なものは、2018年11月世界遺産登録された島尻地区のパーントゥー仮面をつけ全身に泥を塗って厄払いで各家を回る。特に新築の家は汚されて大変。

それから10月の寒露の頃に来るサシバ。1972年に保護鳥になっているが現在はいろいろな要因で、数がかなり激減しています。森林の減少に伴い現在はほとんどが伊良部島で休憩する程度。1980年の最大54,000羽から2011年は10,028羽に減少。さて、宮古観光初日は空港からレンタカーに乗って我がふるさと成川集落へ。今生家は民泊の業者に貸しているのに入することはできないが、約55年前に立てているがリフォームも3回ほどしていますのでまだまだ生活できそうです。成川は主に農業で生活していた。現在は過疎化と少子高齢化に伴い独居老人が増えています。そして昔よく泳いだり、魚釣りしたクーラ（海岸線の一番海への出っ張り）へは、ギンナムが繁茂し海岸線の先までは入れない。隣の下崎集落の砂山へ。小中学生の時砂山で干潮時よく野球をしたものです。また復帰前は米軍の兵隊たちが日曜日によく遊びに来ていたものです。さて砂山の北側にバンコ山という御嶽があります。与那覇メガという老婆が開いたという御嶽のようです。天照大神生誕の地の中継拝所とされています。詳細はネットで検索してください。そしてレンタカーで北の池間島へ。池間島は昔は南方にカツオ漁に行っていた時代があります。今でも漁業が盛んです。狩俣から池間大橋を超えたところのパーラーで、サザエのつぼ焼き食べる。懐かしい味がします。その店から東側に大神島が見えます。6～7年前にフェリーで行って高台まで登ったことがあります。小中学校はもうとくに廃校になっており、2016年の人口は26人で年金生活の老人が住んでいるとのことでした。宮古観光2日目は本島と栗間島観光。北の島尻地区の湿地帯をみて南静園へ。南静園はハンセン病患者の隔離施設があるところです。現在では感染のリスクはほぼないということで解放されていますが、現在の入居者数ははっきりしません。次いで本島東側の東平安埼へ。パーラーで飲み物買って、途中ママヤの墓を拝んで灯台まで歩く。海岸線は奇麗ですが下ま

で50m程あるか？転落が怖いので恐る恐るのぞき見程度で終わり。鉄砲ユリの季節で、家庭訪問の時期には先生にユリをプレゼントしたものです。道路ができる前はポーという針のついた植物が生えていておいしい実がたくさんつきよく食べたものです。東平安名崎から城辺の中心を通り宮古製糖工場を見て多良川酒造へ。あいにく休みで工場へは入ることができなかった。城辺を後にして上野村のドイツ村へ。5月のこどもの日はイベントが沢山。近辺は大型ホテルの建設ラッシュ。先日新聞にも出ていたが、宮古島の2018年の観光客の推計値が約114万3,000人。大型クルーズ船の寄港回数が153回。国内・国外からの観光客がどんどん増え、宿泊施設が足りないようです。一つ心配なのが水問題。今の地下水で大丈夫か？来間島は栗間大橋を往復して終了。最終日は与那覇前浜と伊良部島観光。与那覇前浜はトライアスロンの水泳競技の場所。砂浜が綺麗で、砂自体もキメが細かい。観光スポットにもなっています。次に伊良部大橋を通過して、伊良部島へ。途中佐良浜漁港に寄って新鮮なマグロを食べる。やはり新鮮ですね。次に下地島空港へ。H31年3月30日に下地島空港ターミナルが開業。パイロットの民間訓練場以外に国内線や国際線も開港しました。ますます宮古島市は発展していくでしょう。下地島空港を車で一周しようとしたが今はできなくなっており、そのまま通り池へ。観光スポットにもなっていますが、見るからに海面はどす黒い色で、落ちたら終わりという感じがします。ダイバー調査で外海へつながっているようです。これで伊良部島観光も終わり、レンタカー会社に車を返し空港へ。医療機関回りは宮古病院しか回れなかったが、ネットで調べたら宮古島市は病院が①県立宮古

病院②宮古島リハビリ病院③宮古島徳洲会病院の3か所。クリニックが約31箇所、歯科が23か所あり宮古の医療機関も充実しているように思えます。以前父を那覇の病院に搬送したとき、自衛隊のヘリで搬送したことがあります。ほんとに有難いことでした。八重山もそうですが、地元の医療機関で対応が難しい患者は自衛隊のヘリで救急搬送できますので、離島の方は安心して暮らせると思います。今回宮古観光して改めて感じたことは、宮古島は山がないし、川もないし地下水が唯一の水供給源になっていますが、観光客が増えるのはいいが断水・干ばつが一番心配。行政側もいろいろ考えていると思うが、水を大切にしましょう。農地改良が進み森林が減っている。宮古にもっともっと木を植えましょう。断水や干ばつが繰り返されるようなら宮古は住みにくい離島になるでしょう。





沖縄の生活習慣病への 予防対策

群星沖縄臨床研修センター
徳田 安春

11年ぶりに沖縄に戻って来て2年が経過した。恩師である宮城征四郎先生が立ち上げられた群星沖縄プロジェクトを存続させるためだ。現在の私の主な仕事は、群星沖縄研修病院群での教育回診だ。初期研修医が実際に担当したケースを提示して、参加者皆で臨床推論を進めていく。問診と診察所見から鑑別診断と検査計画をみんなで考えていく。最終診断が示され、その疾患について、担当研修医が調べたサマリーを提示し、質問に答えて終了する。

この2年間で提示されたケースの多くは生活習慣病であった。がん、心疾患、脳血管障害、糖尿病、高血圧、肝硬変、COPD、アルコール依存症などだ。戦後75年が経過したが、この間に沖縄の疾患疫学は大きく変わった。

風邪などの軽い病気を除いて、病院で診療する主要な病気は、交通外傷や市中感染症から生活習慣病に変わったのだ。教育回診のたびに、この患者さんが病気になったのはこのような生活習慣が関連していたのだらうと、研修医たちと話し合う。そこで何度も出てくるので、生活習慣の課題が自然と見えてくる。

現代沖縄の生活習慣での主要な課題は、不健康な食事、運動不足、喫煙、大量飲酒、睡眠障害、口腔衛生不良である。沖縄でよくみる不健康な食事とは、砂糖、塩分、赤肉、加工肉、精製炭水化物などを多く含むもの。具体的なメニューは、コーラ、ジュース、ラーメン、ステーキ、スパム入り料理、菓子パンなどだ。

また、有名観光地となったため、ホテルなどでバイキング料理を食べる機会が多い。深夜まで飲酒して、ラーメンやステーキでしめる。モ

ノルールやバスはあるものの、多くの人が自家用車で通勤通学をする。コンビニへの買い物でもそうであり、歩いていく人が少ない。

戦後の沖縄で米軍基地の展開がもたらした負の健康的影響には、事件事故に加えて、航空機騒音や環境汚染がある。これらは重大であり、医療の現場からも基地の整理縮小が望まれる。しかし、長年の米軍基地の存在によって、アメリカ型生活習慣が沖縄に定着した結果で最も深刻な医学的結果は肥満エピソードだろう。

沖縄の子供には肥満児が多い。成長してそのまま肥満者となる。街中のモールに出かけると、日本本土と違った光景に遭遇する。病的肥満者を数多くみかけることだ。アメリカのモールに来ているような錯覚に陥ることもある。

沖縄不健康メニューの代表選手はスパムおにぎりやハンバーガー、コーラだろうと思う。沖縄でポークと呼ばれているものは、実際は加工豚肉の一種であり、缶詰に入れられた豚肉のジャンクだ。ジャンクとは「肉のクズ」と言う意味。動物の腸管や内臓や筋肉や神経の物質を混ぜて加工したものだ。

スパムは商品名である。アメリカミネソタ州のホーム社が作った加工豚肉のジャンク缶詰だ。第二次世界大戦中に兵隊用の食料として開発され、賞味期限が3年間と長い加工豚肉缶詰である。開けてそのまま生で食べられることから、第二次世界大戦の連合国の兵隊の主要食料となっていた。

ヨーロッパの戦線では当初、ドイツとイタリアの勢力が強かったため、島国であるイギリスは第二次世界大戦に肉類の極端な食糧不足に陥った、そこで友軍アメリカからこのスパムが大量に導入されたのだ。イギリスの兵隊は最初のうちは喜んでスパムを食べていた。しかし、毎日同じメニューのスパムが出てくるとなると、さすがの兵士たちもスパムの食べ過ぎで体調も崩した。原因はこの製品が豚肉のジャンクだったからだろう。腸内細菌は乱れ、塩分量と飽和脂肪酸が多いため血圧やLDLコレステ

ロールも上がり病気になったのだろう。

毎日配給されるスパムを食べて体調を崩したイギリス人の兵隊たち。そのうちの1人が唄を作った。「昨日もスパム、今日もスパム、明日もスパム…」という歌詞からなる唄だった。戦後、この唄は大ヒットし、イギリスの有名なテレビ番組「モンティパイソン」で取り上げられたため、ジャンク食品としてのスパムが世界的に知れ渡ることになった。以降、迷惑＝スパム、という言葉の意味が定着し、インターネットが発達してから迷惑メールもスパムメールと言われるようになる。不特定多数に送られるあの迷惑なメールのことだ。

話を沖縄に戻す。戦後、米軍が占領支配し、伝統料理にもともと豚肉をよく取り入れていた沖縄に米軍からこのスパムが配給されて一気に沖縄中に広まった。その中の代表的な料理がポークと卵おにぎりだった。代表的な伝統料理の一つであるゴーヤーチャンプルーにもスパムが侵入した。沖縄の多くの食堂でのゴーヤーチャンプルーにあたりまえのように入っているスパム。私は、不健康メニューの代表であるスパムとの決別宣言をすべきと考えている。沖縄の本来の伝統料理の食材に戻すべきなのだ。

さて、現代沖縄の生活習慣での主要な課題の

うち、今回の随筆では不健康な食事と運動不足に焦点を当てた。喫煙、飲酒、睡眠障害、口腔衛生不良などについては、近著で詳しく取り上げる予定なので少しお待ちいただきたい。

ここで、現代沖縄に潜む社会的根本原因について図1に示す。生活習慣病の社会的メカニズムだ。これは現代日本社会で共通する疾患メカニズムであり、早期にアメリカナイズした沖縄の状況は本土の先を行っているのだ¹⁾。この図は、2018年の政府内で開かれた会議でも参考資料として取り上げられたのでここでも紹介したい。

人間は習慣から成る、とアリストテレスが述べたように、生活習慣病への根本対策は生活習慣改善で予防することだ。そのためにはエビデンスに基づく社会的政策を実施することが望まれる。そのような社会的政策を実施するためには、沖縄県内の多くの医師が一致団結して政策実施を求めることで可能になると思う。医師会の先生方のなかからこの提案に賛同する方々がおりましたらぜひとも私までご連絡をお願いしたい。

文献

- 1) 徳田安春、星哲哉、岸本暢将。今からでも遅くない病気になる健康生活スタイル。西村書店。2007/9/1

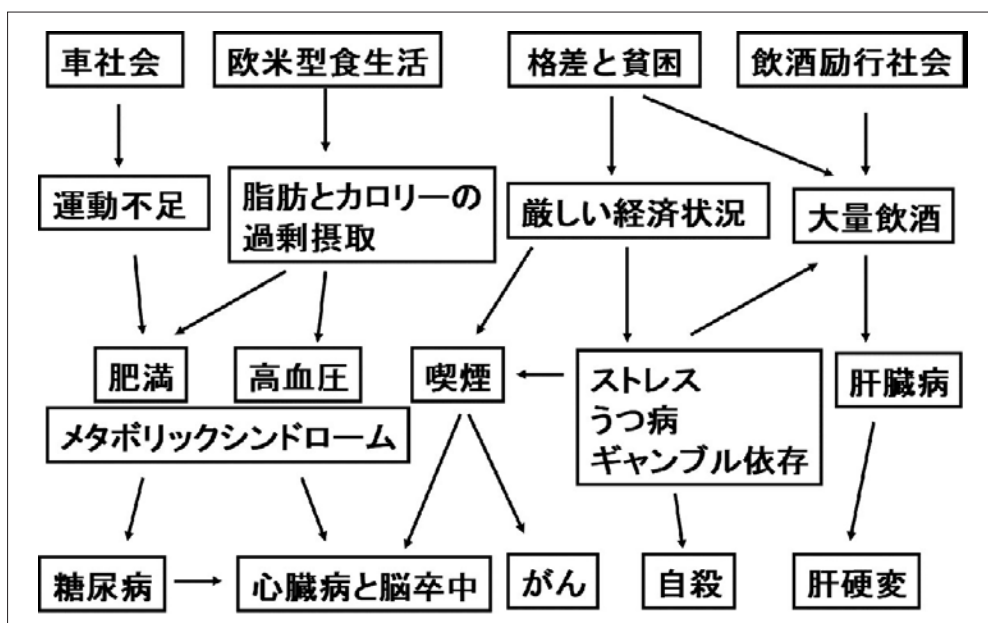


図1：現代沖縄の社会・経済・生活習慣と疾病（文献1より）

琉球大学大学院
医学研究科育成医学(小児科)
中西 浩一

「随筆」の原稿依頼を頂戴しました。さて、何を書かせていただくかと考えて趣味にしようと思ったのですが、私には某製薬会社から無料で送られてくる赤い雑誌に掲載されるような素晴らしい趣味はなく、これまでの雑多な趣味遍歴を振り返ってみたいと思います。

小学校に上がる頃にはプラモデルが趣味で、月に一回我が家を訪れる祖母に買ってもらうのが楽しみでした。今はなくなった長崎屋で毎月開催されるコンテストに応募をしたりしました。当時は祖母がやってくるのが嬉しかったのですが、祖母に会いたかったのかプラモデルが欲しかったのか、今では何とも言えません。

そのうち、既製のプラモデルでは飽き足らなくなり、模型屋に入り浸りお小遣いの大部分を部品につぎ込んで電動自動車やクレーンなどを作成していました。小学校高学年になると電気工作なるものに目覚め、「ラジオの製作」や「初歩のラジオ」という月刊誌が愛読書でした。月に数回は大阪の日本橋に一人、あるいは友人数人と出かけ、電気街の端から端まで一日中部品集めをするのが趣味でした。ジャンクの掘り出し物を小学生が探すというのは如何なものだったのでしょうか。日本橋通いは小学校4年にデビューし、6年には引退しました。音声リレーや短波バンドのラジオなどを作成していましたが、既製品の方が安く性能も良いという当たり前の現実と直面し、作る楽しみが薄れてしまいました。当時はトランジスタをよく使用しましたが、ICやLSIがどんどん進化していく時代であり、そのようになったと思います。後にこれらの雑誌について調べてみると、「ラジオの

製作」は1954年に創刊され1999年に休刊になっています。「初歩のラジオ」は1948年に創刊され1992年に休刊で、同じような時代であり実は電気工作が趣味として成立しやすい時代でした。

電気工作で足を洗った後にはまったのが、BCLです。これは簡単に言うと取えて聴きにくい放送を聴くという趣味です。当時我が家には5球スーパーと呼ばれる古い受信機（簡単にいうとラジオ）があり、これがマルチバンドで結構感度がよく、海外からの放送を聞くこともできました。もちろん英語で…と言いたいところですが、当時（今でも）英語はあまり得意ではなく、「ラジオオーストラリア日本語放送」というのをよく聴いていました。これも後に調べたのですが、1960年から1990年に放送されており一つの時代だったのです。この最終日の放送がYouTubeにあります。キーンという独特の雑音の中で放送が聴けて、大変懐かしいです。興味のある方は一度聞いてみてください（<https://www.youtube.com/watch?v=COyLZ6Mtt1c>）。このおんぼろラジオはチューニングが微妙にゆれるので、ダイヤルを握りしめ常に微調節をしながら夜な夜な聴いていました。当時はBCLが大ブームで、家電メーカーがこぞってそれ用の高性能な受信機を発売していました。業務用高級機種は別として、当時はソニーのスカイセンサー5900とパナソニック（当時ナショナル）のクーガー2200が代表機種で、私は前者が欲しくて父に交渉をしたところ、実力テストで学年1番なら買ってやろうということになり、結果2番だったので残念ながら半額以下の廉価版のラジカセで手を打たれてしまいました。当然、再度1番ならスカイセンサーをと交渉しましたが、実現の可能性を危惧（？）した父は再挑戦の申し出を却下しました。このような教育方針はどうかと今になっては思いますが、勉強の励みになったことは間違いありません。これが中学1年の頃だったと記憶しています。この趣味もそのうち興味が薄れていきました。カセット

もついていた廉価版で手を打った父の判断は正しかったようです。

この次に没頭したのが音楽です。ラジオで流れる音楽や、家にあった古いステレオで借りてきたレコードなどを手当たり次第聴きました。最初は特に映画音楽が好きで例のラジカセに生音で録音していました。ラジオ放送は別として、今のようにライン録音が簡単にできませんでしたので、弟を静かにさせるのが一苦労でした。ご多分に漏れず、聴くだけではものたりなくなり自分で演奏したくなり、姉がクラシックギターを買ってもらったので私はフォークギターをねだりました。幸い音楽には理解が得られ、フォーク少年ができました。当時はアリスやさだまさしが流行っており、完コピでした。ところが、やはりもの足りないものを感じるようになりました。セッションしたいと思いはじめフォークギターを二人でやるようになりましたが、一人がメロに走りもう一人はリズムに走るという自然な流れにより、相方はエレキギター、私はドラムとなりました。実際、中学生に頻回のスタジオ通いは厳しく、かといってドラムセットを買い与えるほど寛容ではなかったので、考えたあげくドラムセットをダンボールや木で自作しました。ここは昔取った杵柄で、結構完成度は高かったと思います。今なら動画に撮りたいところですが、当時はビデオもスマホもなく、そのようなことはできませんでした。

私が実物のドラムを手にすることができたのは、大学受験を終えてからです。自宅でもドラムが練習できるようになり、バンドを結成しま

した。考えてみたら相当近所迷惑で、「中西のところのドラ息子はいしょうがないな」と言われていただろうと推測します。バンドではポリスとかクイーンとか色々なコピーをしましたが、演奏の腕があがればあがるほどボーカルのレベルが気になります。もちろん、演奏も大したことはないのですがそのような事情から私はインストがやりたくてしょうがなくなりました。当時、日本ではカシオペアやスクエアが流行っており、海外ではスパイロジャイラやイエロージャケットがお気に入りでした。私は「コバルトブルー」というバンド名でインストの洗練された感じのバンドをやりたいと皆に話しましたが、どん引きされました。今でもその希望はありますが、実現していません。

時間経過は前後しますが、高校の時に新しい趣味を始めました。それは写真です。中古のペンタックスを購入し、写真部に入って現像とかも自分でしました。人物写真が好きで、「熱中時代」とか「ある少年の悲劇」みたいな大げさなタイトルを何でもない日常生活の一場面につけてコンクールに応募したりしました。

平成元年に医師になってから今までがあっという間に過ぎてしまいました。その間、音楽と写真は継続的に楽しんでいます。独身の時に撮影した妻の写真やこども達の写真は我ながら良いきのものもあります。もっとも、妻もこども達も今ではモデルになってくれません。次は孫かなと期待していますが、これも何かと気を使いそうなので、そろそろ風景写真に切り替える方が無難かなと考えている今日この頃です。



沖縄県感染症発生動向調査報告状況

(定点把握対象疾患)

疾 病	定点区分	18 週	19 週	20 週	21 週	
		4/28	5/12	5/19	5/26 (定点あたり)	
		報告数	報告数	報告数	報告数	
インフルエンザ	インフルエンザ	407	267	258	277	(4.78)
RS ウイルス感染症	小児科	25	17	30	54	(1.59)
咽頭結膜熱	小児科	12	23	11	40	(1.18)
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	49	51	52	38	(1.12)
感染性胃腸炎	小児科	115	143	218	185	(5.44)
水痘	小児科	17	17	13	11	(0.32)
手足口病	小児科	48	32	85	92	(2.71)
伝染性紅斑	小児科	9	32	27	24	(0.71)
突発性発疹	小児科	21	16	12	23	(0.68)
ヘルパンギーナ	小児科	15	6	16	18	(0.53)
流行性耳下腺炎	小児科	1	1	1	4	(0.12)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	3	19	7	11	(1.10)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	1	1	1	(0.14)
マイコプラズマ肺炎	基幹	1	1	2	0	(0.00)
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	基幹	0	2	3	0	(0.00)

※ 1. 定点あたり・・・対象となる五類感染症（インフルエンザなど 18 の感染症）について、沖縄県で定点として選定された医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると定点 1 医療機関当たりの平均報告数のことです。
(インフルエンザ定点 58、小児科定点 34、眼科定点 10、基幹定点 7 点)

※ 2. 最新の情報は直接沖縄県感染症情報センターホームページへアクセスしてください。
麻疹の情報も随時更新しております。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>

お 知 ら せ

会員にかかる弔事に関する医師会への連絡について (お願い)

本会では、会員および会員の親族（配偶者、直系尊属・卑属一親等）が亡くなられた場合は、沖縄県医師会表彰弔慰規則に基づいて、弔電、香典および供花を供すると共に、日刊紙に弔慰広告を掲載し弔意を表することになっております。

会員に関する訃報の連絡を受けた場合は、地区医師会、出身大学同窓会等と連絡を取って規則に沿って対応しておりますが、日曜・祝祭日等に当該会員やご家族からの連絡がなく、本会並びに地区医師会等からの弔意を表せないことがあります。

本会の緊急連絡体制については、平日は本会事務局が対応し、日曜・祝祭日については、緊急電話で受付して担当職員へ取り次ぐことにしておりますので、ご連絡下さいますようお願い申し上げます。

○平日連絡先：沖縄県医師会事務局

TEL 098-888-0087

○日曜・祝祭日連絡先：090-6861-1855

○担当者 経理課：平木怜子 池田公江

災害医療研修会のご案内

2019 年度沖縄県医師会災害医療研修プログラム

沖縄県医師会では、東日本大震災や熊本地震等の教訓を活かし、次の大規模災害に備えた姿勢の整備として、平成 26 年度より災害医療研修プログラムを実施しております。

2019 年度の開催プログラム(一部未定あり)が決定いたしましたのでお知らせいたします。

各コースへの受講申込は、下記により FAX(098-888-0089)にてお申込みください。

No	日時	プログラム(案)	研修形態
1	7 月 20 日(土) 15:00-17:00	地域医療本部の立ち上げと運営	講義+図上
2	9 月 5 日(木) 19:30-21:00	J-SPEED、EMIS の入力	講義+演習
3	10 月 17 日(木) 19:30-21:00	メンタルヘルス・DPAT	講義
4	10 月 31 日(木) 19:30-21:00	医療救護所の運営と巡回診療	講義
5	調整中	公衆衛生(DHEAT の視点から)	講義

■ 会場は、沖縄県医師会館 3 階ホールを予定しております。

----- 参加申込票 -----

■ FAX:098-888-0089 参加希望の研修番号に○印を付け、お申込みください。

申込番号	1 • 2 • 3 • 4 • 5
施設名	
氏名	医師・看護師・業務調整員・その他